

大島事業所トピック

No. 304

(旧大島分場トピック)

平成 17 年 8 月 29 日

島しょ農林水産総合センター大島事業所発行
〒 100-0212 東京都大島町波浮港 18
Tel 04992 (4) 0381 Fax 04992 (4) 0383
ホームページ <http://www.fish.metro.tokyo.jp>

三宅島のテングサは今？

--- 高級品のオオブサ（アラメ）の繁茂状況は良好 ---

大島事業所では、今年度4月から7月にかけて三宅島において、磯根資源の重要種であり、噴火前まで最も水揚額の多かったテングサの着生状況調査を行いました。

・三宅島のオオブサは良好！

調査は、波打ち際に生育しているオオブサと水深10m以浅のマクサについて行いました。この結果、オオブサは漁場のある島の北西部から北東部にかけての岩礁帯で広範囲に繁茂しているのが確認でき、オオブサは十分漁業が成立すると考えられました（図1）。一方、マクサはオオブサと比べると全体的に



写真1 オオブサの繁茂状況（アカアナ）

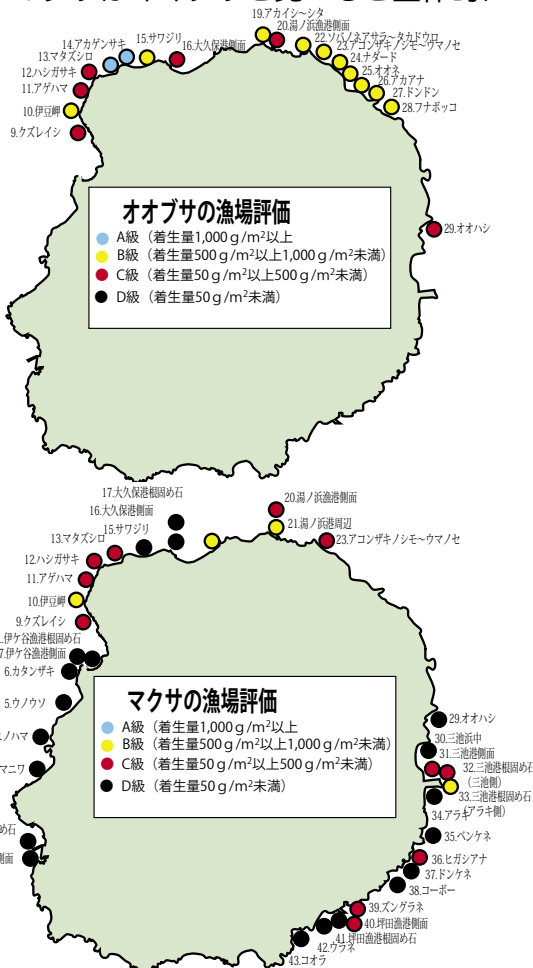


図1 テングサの作柄評価（上：オオブサ，下：マクサ）

着生量は少なくなっています（図2）。比較的回復良好な場所は、北西部と北部の一部で、これらの漁場は、良質のマクサの繁茂がみられました。また、坪田漁港や三池港、湯の浜漁港の側面や脇の根固めケーソン上の一部でも、良質のマクサが繁茂していました。このように、マクサは全体的な着生量が少ないので安定した収穫は期待できず、漁業の対象にはなりにくいと考えられました。

・漁業の復興に向けて

4年半ぶりの帰島から半年が経ち、住民の方々の生活も落ち着きを取り戻し始め、漁業も再開されています。最近の健康食ブームで、寒天が大きな話題を呼んでいます。三宅島は「テングサの島」と言われるほどテングサ漁業が有名です。寒天の材料であるテングサの需要もますます増大するものと見込まれ、今回の調査結果から、最高級品である三宅島のオオブサが十分漁業の対象になるほど確認できたことは明るい話題と言えます。